

11月1日(日)～7日(土)

文化財保護強調週間

11月1日から7日は、文化財保護強調週間です。
郷土の歴史を知り、故郷を愛することは、文化財
保護の心にもつながります。

今回は、藤原俊成と蒲郡の関わりについてご紹介
します。



俊成苑に設置されている
「藤原俊成卿銅像」

俊 成 苑

平成19年4月29日 開苑

博物館 ☎68♦1881

『俊成苑』と俊成卿銅像

竹島橋のたもとにあった「竹島園地」が芝生広場にリニューアルされ、平成19年4月29日に『俊成苑』として開苑しました。その名前の由来となっているのが、平成3年にあるさと創生事業のひとつとして建てられた「藤原俊成卿銅像」です。

藤原俊成とは

藤原俊成は、平安時代の末に後白河法皇の命令で『千載和歌集』の撰者をつとめた優れた歌人です。『平家物語』や能『忠度』には、都を逃れていく歌の弟子・平忠度から自分で詠んだ歌を書きつけた巻物を託された俊成が、後年その中から「詠み人知らず」として『千載和歌集』に採りあげた逸話が紹介されています。また、小倉百人一首で有名な藤原定家の父でもあります。

藤原俊成と蒲郡

俊成は、久安元年(1145)12月に三河国の国司(現在でいう県知事)に任命され、3年5カ月の間つとめました。鎌倉時代の歴史

書『吾妻鏡』には、三河国の竹谷・蒲形荘(現在の蒲郡中心部)を開発したことが記されていることから、当市では俊成を「開発の祖」として顕彰しています。

蒲郡駅南口ロータリーの交差点、竹本油脂本社の一角には、俊成がこの地で詠んだといわれる歌に出てくる「涼みが杜」「雀の森」「雀が森」とも)の碑が建てられています。「すずめのもり」「すずみがもり」いずれの響きからも、緑豊かな当時の光景が偲ばれます。

また、八百富神社の前身である竹島弁天社は、江州(滋賀県)竹生島から養和元年(1181)に俊成が勧請したと伝えられています。境内には、八百富神社のほか、宇賀神社・八大龍神社・大黒神社、そして藤原俊成を祭神とする千歳神社が祀られています。



「涼みが杜」の碑